

暮らしのお知らせ

☆は、行政情報告知端末機の番号です

税のお知らせ

確定申告が間違っていたとき・忘れたとき

税務署へ確定申告書を提出した後で計算誤りなど申告した内容に間違いがあることに気付いた場合は、次の方法で訂正することができません。また、確定申告をしなければならぬのに、確定申告することを忘れていた場合は、できるだけ早く申告してください。

◎税額を多く

申告していたとき

確定申告書を提出した後で、税額を多く申告していたことに気付いたときは、「更正の請求」をして正しい税額への訂正を求める事ができます。請求内容が正当と認められたときは、正しい税額に減額されます。

【手続】

更正の請求書に必要事項を記入して、納税地を所轄する税務署長に提出してください。更正の請

求書は、国税庁ホームページからダウンロードできます。(税務署にも用意してあります。)

【期間】

更正の請求書は次の期間に提出してください。
■平成26年分から平成30年分：法定申告期限から5年以内

◎税額を少なく

申告していたとき

確定申告書を提出した後で、税額を少なく申告していたことに気付いたときは、「修正申告」をして正しい税額に修正してください。

なお、修正申告によって新たに納める税額は、修正申告書を提出する日(納期限)までに延滞税と併せて納めてください。

【手続】

修正申告書に必要事項を記入して納税地を所轄する税務署長に提出してください。修正申告書は、国税庁ホームページからダウンロードできま

す。(税務署にも用意してあります。)

【期間】

修正申告は、税務署長から更正を受けるまではいつでもできますが、修正申告によって納める税額には、法定納期限(平成30年分の所得税及び復興特別所得税は平成31年3月15日(金)、消費税及び地方消費税は平成31年4月1日(月))の翌日から納付する日までの期間について延滞税がかかりますので、できるだけ早く申告・納付するようになしてください。また、修正申告をする場合や、税務署が更正を行う場合には、加算税が賦課される場合があります。

◎確定申告を

忘れていたとき

確定申告をしなければならぬのに、確定申告することを忘れていたときは、できるだけ早く申告するようになしてください。申告の必要があるにもかかわらず、確定申告

をしなかった場合には、税務署長が所得金額や税額を決定します。

なお、税務署長が決定を行う場合や提出期限に遅れて申告した場合などには、加算税が賦課される場合があるほか、法定納期限の翌日から納付日までの延滞税を併せて納付しなければなりませんので、ご注意ください。

※更正の請求、修正申告などの手続などについて、ご不明な点がありましたら国税庁ホームページをご覧ください。最新の税務署にお尋ねください。

●平成31年度町税等の納付は、口座振替が便利です

町税等(軽自動車税、町道民税、固定資産税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料)の納付は、納め忘れない口座振替をお勧めします。

北星信用金庫、北はるか農業協同組合下川支所、郵便局の口座でご利用できます。

手続きは、銀行印をご持参の上、各金融機関または役場税務住民課で行ってください。ただし、郵便局のご利用希望の人は、役場税務住民課では手続きができませんので、郵便局で行ってください。

■お問い合わせ

(国税)

◎名寄せ税務署

☎01654-212157

国税庁ホームページ

www.nta.go.jp

(町税等)

◎税務住民課

税務・収納グループ

☎4-2511

内線114-115

☆4-251103

